



95%まで借金ができるというもので、しかも、返さなくてはならない元利償還金の内、70%を国が地方交付税で補填してくれるという制度です。全体の事業費の3分の1程度の負担で事業ができるメリットがあります。これにも15年間という期限があり、そういういくつかの財政的に特別な措置が無くなっていく中でこの10年間というわけです。

鶴岡 全ての事業を実施していくことは難しいという状況で、住民の意識を盛り込みつつ、優先順位を付けて、選択と集中を行っていかなくてはならないと思います。

市長 その選択と集中について聞いてみた住民アンケートがあります。市民意識調査というのですが、優先的に力を入れてほしい分野と、多少後回しにしても止むを得ないと思う分野について聞きました。優先的に力を入れて欲しい分野は、保健・医療、高齢者・障がい者福祉、子育てでした。一方で少し後回しになっても止むを得ない分野は、地域コミュニティー施設とか、スポーツ・文化、それから商工・観光などが少し高めに出ています。

鶴岡 やはり市民生活に結びついた分野が重要だと感じているわけですね。そういうことが明確になっているので、メリハリのある計画を立てていくことが重要です。いろいろな立場の人がいる中で、総合計画をまとめているので、多くの意見を反映していきたいと考えています。

市長 そういう選択と集中をしていくとしても、

最終的には市民の皆さまにご満足いただけるような市政をお届けしなければなりません。同じ調査の中で、津市に愛着を感じていますかという質問をしました。すると79.5%の人が感じているとお答えいただいたのですが、これは4年前と比べると5.9ポイントアップしています。また、今後も津市に住み続けたいですかとお尋ねしたところ、87%の人に、はい、とお答えいただいて、これも8ポイントアップしています。愛着度や、定住志向が上がってきているわけですが、このデータともう一つ、個別の政策にご満足いただいていますかとお尋ねしたところ、4年前は不満という答えが比較的多かったのですが、今回の調査を見ると満足が多くなってきたようです。全体として市民の満足度が上がってきているのではないかと考えているのですが、いかがですか。

鶴岡 市民の満足度については、前回に比べると、不満の部分が減って満足の部分が増えてきたわけですね。それから、従来不満を感じていた分野でも、その割合はずいぶん減ってきて

地元で就職を望む学生増 受け皿増やす取り組みを

るようで、良い市政をされてきたことの表れではないでしょうか。これからも、こういう状態が維持されるような

総合計画をまとめていきたいと思います。私が勤務している三重大学の学生に聞いてみたところ、地元で就職したいと考えている人がかなりの割合でいるので、そういう人たちが働ける職

